

## あなたの悩みは何か —若手職員の心構え



市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）前学長 **岡本 全勝**

連載「これからの時代に求められる自治体職員像」の第4回は、「若手職員の心構え」です。

（みんな悩む）

毎日、楽しく仕事ができているでしょうか。「はい」と言えればよいのですが、いろいろな悩みや迷いがあるのではありませんか。それが普通です。それをどのように乗り越えていくか。そこに、仕事が楽しくなるか、嫌になるかの違いが出てきます。そして、仕事ができる職員と、そうでない職員の違いが出てきます。

職場での悩みは、整理してみると「仕事について」「人間関係」「将来の見通し」といった分類ができます。順に説明しましょう。

（仕事の悩み）

仕事の悩みの第一は、取り組んでいる仕事の進め方がわからないことでしょう。初めての職場や新しい業務を担当したときには、困ることがありますよね。引き継ぎを受けても、作業手順書を読んでも、わからないことがあります。自分で考えて進めても、行き詰まってしまうこともあります。

対処方針の一つは、もう一度、前任者の書類を読み返すことです。それでも進まない場合は、同

僚に相談するか、上司に相談に行きましょう。

たくさん仕事を抱えていて、どれから手をつけたらよいのかわからない、また終わりが見えないこともあるでしょう。こんなときは、抱えている案件を、紙に書き出しましょう。締め切りの早いものから並べるとともに、作業量の多さ・難しさで分類しましょう。それでも困ったら、上司に相談しましょう。「どれを優先しましょうか」と。

あなたは、組織の一員として業務を分担しているのです。上司の指示を受けて仕事をしているのですから、困ったら上司に相談しましょう。一人で悩んでいても、仕事は進みません。

（人間関係）

次に人間関係です。仕事をする中で、上司や先輩が怖い、同僚と話が合わないなど、実は職場の悩みの大半は人間関係です。

怖い上司がいる場合、その上司を苦手にしているのは、あなただけですか、職場のみんなですか。みんなが怖がっているのなら、安心しましょう。その人たちに、怖い上司向けの「傾向と対策」を教えてもらいましょう。

あなただけが苦手なら、うまく付き合っている同僚に、あなたの悩みを聞いてもらい、どのよう

にしてうまくやっているのか教えてもらいましょう。

職場の同僚みんなと話が合わない場合は、他の課の相談できる人や学生時代の友人に話を聞いてもらいましょう。糸口が見つかるかもしれません。

#### (将来について)

現在の仕事がうまくいっていても、将来について不安を感じることもあるでしょう。「このような仕事を続けていて、技能はつくのだろうか」。逆に、優秀な先輩を見て、「私もあのようになることができるのだろうか」という悩みもあります。

そのような場合は、職場の「お手本」を探しましょう。仕事ができ、周囲からも信頼され、あなたが憧れる先輩です。その先輩は、どのようにして能力を身につけたのでしょうか。それをまねてみましょう。

与えられた仕事をのんびりだらりと処理しているだけでは、技能は身につかず、有能な職員にはなることができません。まず、現在の職務を早く上手に処理できるようになりましょう。そしてその先を想像してみましょう。本屋には、啓発本が並んでいます。いくつか読んでみてください。向上心と勉強のないところに、成長はありません。

#### (一人で悩まない)

ところで、あなたは、自分が何に悩んでいるか、わかっていますか。実はあなたの悩みが何で、上のどれに当たるか分類ができれば、解決されたものと同じです。「何がわからないかがわからない」という人も多いでしょう。それが若手職員の一番のつまずきなのです。このような悩みは、人工知能に聞いても的確な答えを教えてくれないでしょう。

若手職員が悩んでいる案件は、本人にとっては重大なことです。先輩からすると、みんなが悩んできた「ありきたりなこと」なのです。相談してくれれば、助言することができます。

あなたがしなければならないことは、悩みについて助言をくれそうな人に相談することです。上司には聞きにくいこともあるでしょう。そのようなときに相談できる先輩を持つことが重要です。同じ職場でなくてもよいのです。ふだんから相談に行ったり、時にはお茶を飲んだりして、話を聞いてもらいましょう。

#### (相談できる人は財産)

実は私も駆け出しの頃、仕事が進まず悩んだことがあります。何がダメなのかもわからなかったときに、「その悩みはこういうことじゃないか」と救ってくださったのは、別の課の先輩でした。

もっとも、職員の悩みの大きなものは、職場での悩みではなく、私生活です。本人や家族の病気、連れ合いとの関係、子育ての悩み、賭け事で大きな負けを背負ったなどです。時には、仕事が手につかないこともあります。

仕事の悩みなら相談に乗ることができるのですが、私生活の案件は同僚や上司から立ち入ることはできません。相談されれば、人生の先輩として助言できることもあるでしょうけれど。

仕事のできる人は、相談できる人・相談される人をたくさん持っている人です。あなたも、仕事に悩むたびに、人脈を広げていきましょう。

#### (参考)

拙著『明るい公務員講座』(2017年、時事通信社)